

令和 8 年度 第 1 回伊勢原市食育推進会議 議事録

【開催日時】 令和 8 年 7 月 23 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分

【開催場所】 伊勢原市役所 3 階 全員協議会室

【出席者】 食育推進連絡会議委員 11 名・食育関連課 5 名・事務局 7 名

【公開可否】 公開

【傍聴者数】 0 人

【配付資料】

- ・ 会議次第
- ・ 資料 1 伊勢原市食育推進会議条例
- ・ 資料 2 伊勢原市食育推進会議の検討経過について
- ・ 資料 3 第 4 次伊勢原市食育推進計画 目標・基本施策別事業評価の概要（一覧）
- ・ 資料 4 第 4 次伊勢原市食育推進計画中間評価報告書
- ・ 資料 5 令和 8 年度伊勢原市食育料理コンテスト実施要領
- ・ 資料 6 広報いせはら令和 8 年 7 月号
- ・ 参考資料 1 第 4 次伊勢原市食育推進計画〔概要版〕

- 1 開会
- 2 委嘱式
- 3 副市長あいさつ
 - ・ 大山副市長
- 4 出席者自己紹介
- 5 会長、副会長の選出
- 6 議事

（会長）

それでは、議事（1）伊勢原市食育推進会議の振り返りについて、事務局からご説明をお願いいたします。

（事務局）

伊勢原市食育推進会議の振り返りについてご説明します。

伊勢原市では平成 26 年度より、食育をより効果的に推進するため、食育推進連絡会議を設置しており、伊勢原市食育推進計画の進行管理や評価に加え、本市が重点的に取り組むべき食に関する問題などを様々な立場の委員の皆様と市で話し合い、連携・連動してくことを目的として開催してまいりました。2 年前には「伊勢原市食育推進会議条例」を制定し、従来から実施していた市食育推進連絡会議と市食育推進計画策定委員会の役割を併せ持つ伊勢原市食育推進会議を設けました。

資料 1 がその条例となります。第 4 条にありますように、委員の任期を 2 年とし、皆様におかれましては令和 8 年 7 月 1 日から令和 10 年 6 月 30 日までとさせていただきますが、実際の会議は 3 月末には終了を予定しています。異動等による委員の変更については、前任者の残任期間とさせていただきますことが記されております。

参考資料1をご覧ください。現在、市の食育計画は第4次となり、こちらが第4次伊勢原市食育推進計画の概要版になります。こちらの3・4ページの計画の体系にもありますように、伊勢原市では5つの食育目標と13の基本施策の下、食育を推進しております。

資料2「伊勢原市食育推進会議の検討経過について」をご覧ください。前回の任期にあたる令和6、7年度において、会議で検討した内容等について記載しております。幼児から高齢者まで様々な内容について検討し進めています。

資料4「第4次伊勢原市食育推進計画中間評価報告書」につきましても、様々なご意見をいただき、今後取り組むべき内容について協議を進めてきました。

これらを踏まえ、令和8、9年度にかけて食育推進会議で検討していく項目の案について、5つお示しさせていただきました。特に来年度は、第5次伊勢原市食育推進計画の策定作業を行う年になっておりますので、この会議で検討していければと考えております。

今年度も様々な立場の皆様と情報共有しながら、より効果的に食育を推進していけるよう、話し合いをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。今年度も昨年度同様、本日を含め年3回の会議を予定しております。

本会議の振り返りについては以上となります。

(会長)

ただいま、事務局から説明がありました。ご質問、ご意見があれば、お伺いします。

無いようですので、次に、議事(2)について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

第4次伊勢原市食育推進計画 令和7年度評価及び令和8年度取組について説明します。資料3の1枚目をご覧ください。

各部署で実施している食育事業において、令和7年度における5つの食育目標と13の基本施策の進捗状況などの評価資料になります。令和7年度取組について各担当で評価を行い、評価の区分は、「A：計画どおり進捗した」、「B：概ね計画どおり進捗した」、「C：計画どおり進捗できなかった」、「D：事業を実施できなかった」の4段階となっております。なお、こちらにつきましては計画の評価ということで、市のホームページに毎年掲載しております。

全体の結果は「A」は81.4%、「B」は14.0%であり、合わせて95.4%と、概ね9割が計画どおり進捗しています。昨年度と比較し、A評価が増加しております。

各課の事業については、本日出席をしている食育関連課のみになりますが、説明させていただきます。

(こどもみらい課)

4事業あげさせていただいております。「母親父親教室」、「乳幼児健康診査等での食育及び個別食事相談」、「離乳食教室」、「産前産後サポート（すくすく離乳食相談）、産後ケア事業等での食育普及啓発」、すべてA評価をつけさせていただいております。特記することとして、産後ケア事業では実施回数を増やして今後も取組をしていくこととします。

(保育・幼稚園課)

7つの事業ですべてA評価としました。令和8年度の指標としまして、公立の大山保育園や本田記念幼稚園が閉園した関係で、評価指標の施設数が減っています。令和8年度取組としては、食育だよりにて様々な話題を提示して、子育て世代に食育を幅広く伝え、今まで以上に話題を広く取り入れていければと考えています。

（教育指導課）

大きく3つの内容です。「各教科等での食に関する指導」、「学校における食育活動への支援」、「総合的な学習の時間等での食育の取組」ということでやってまいりました。食育担当者への推進連絡会や食育研修会を行い、市の第4次伊勢原市食育推進計画、文部科学省「食に関する指導の手引き」及び学習指導要領などに基きまして、授業等で取り組んでまいりました。計画通り推進できましたのでAいたしました。

（地域福祉推進課）

「生き生き健康教室（短期集中予防サービス事業）」は介護保険の総合事業として位置づけられ、短期集中通所型サービスで3ヶ月間12回の講座をご利用いただき、その中で運動と栄養、口腔の3つのテーマを学ぶコースであり、予防事業に特化しています。健康運動指導士、管理栄養士、歯科衛生士の専門職が一人一人の状態を丁寧に数値化しながら状態の改善を図るサービスです。定員が10名の2コースとなっていて、昨年度は11名のご利用をいただいております。かなり集中的に行い、いろんな数値を求めている、栄養分野では食品摂取多様性スコア（DVS）が7点以上を目標としています。事業開始時は7.7だったのが、事業終了時には8.3に上がり、A評価とさせていただきます。引き続き毎年度実施していきたいと考えております。

（農業振興課）

4事業あります。「農業体験事業」みかんの木オーナー制度については、農業者の高齢化、担い手不足、みかんの木の老朽化、自然災害、鳥獣被害等、様々な要因で毎年提供本数が減っているところではございます。みかんの木オーナー制度や米作り体験は、市民・地域の方に農業体験の機会を創出することを継続しておりまして、目標の数値には届いておりませんがB評価とさせていただきました。

「農業に関するイベント」畜産まつりでは毎年11月の第3土曜日に、伊勢原市役所裏側の職員駐車場を使用し、市から畜産会に委託して畜産農家の全面協力の下、毎年実施しています。近年では他の行政イベントと一体で開催して、JA湘南の農業まつりもあり、かなり多くの人に来場していただいております。普段牛などに触れ合う機会がない小さいお子様や家族連れに多数来ていただいておりますので、こうした体験を通して農業への理解を醸成していきたいと、今年度も実施予定でございます。

「市民農園」八幡谷戸ふれあいガーデンとNPO法人ファームパーク上平間があります。こちらは市民農園として、希望される方が各自区画を持ちまして、ご自身のペースで農作業を行うというものです。八幡谷戸ふれあいガーデンに関しては見学会を実施し、毎年ご好評いただいております。利用率は目標を達成しております。ファームパーク上平間につきましてはNPO法人が運営しておりまして、気候変動や利用者の高齢化で利用率は若干低下しているところでございます。市でも年1回の広報やそれに応じての集客の協力はしていくところでございます。

「伊勢原市の農畜産物を用いたメニューの紹介」では、令和7年度は学校教育課と連携いたしまして、いせはら地ミルクを小学校2校の学校給食のシチューの材料として使っていただいております。残念ながらいせはら地ミルクはメーカーの諸事情で今年3月に終売してしまったのですが、県産牛乳で足柄のきんたろう牛乳がありますので、引き続きこちらを使って給食での提供を続けさせていただきたいと考えております。

（健康づくり課）

ほぼ全ての事業が計画通り実施されA評価となりました。「壮年期への食育」はスマートフォンのアプリを使った事業で、様々な事業所に出向いて周知を行いました。指標が100人に対し未達のためB

評価としました。今年度も事業所や、こどもみらい課とコラボして子育て支援センターの利用者等若い世代への PR を推進していきたいと思っております。

「被保護者健康管理支援事業」を今回から新規で事業計画・事業評価シートに掲載いたしました。令和 3 年度より実施している事業にはなりますが、令和 7 年度に実施した第 4 次伊勢原市食育推進計画中間評価により、経済的な暮らし向きと栄養バランスに関連性が見られたため、新たに取り組事業として位置づけさせていただきました。具体的には生活保護の健康管理ということで、管理栄養士、保健師による個別の健康相談を実施する事業となります。

(事務局)

本日は、学校教育課は他の業務で欠席となっております。担当より「学校教育課の部門もすべて A 評価で計画通り進捗いたしました。」という点と、特記としましては「思春期栄養改善事業において、栄養授業の中で新たに朝食欠食等について取り扱う検討をしていくこと。また、小学校給食における地場産物の使用推進では、地場産野菜の使用回数を増やすことができました。」と報告を受けております。

主な関係課の状況は以上になります。今、ご説明させていただいた食育関連課以外の課につきましても、保険年金課、社会教育課、環境対策課、清掃リサイクル課、伊勢原市ヘルスメイト、平塚保健福祉事務所秦野センターの評価と計画も記載されていますので、ご確認ください。

事務局から以上になります。

(会長)

ただ今、事務局から各課の説明がありました。ご質問ご意見があれば、お伺いします。

(委員)

朝食欠食が目立っているという結果を受けて、小学校でも各小学校 5・6 年生を対象として、朝食欠食について実際にアンケートをとり、その結果を示しながら授業の中で朝食の大切さや朝食のとり方について栄養士が食育を行っています。中学生に対しては、思春期改善事業で朝食欠食について取り入れていくことを検討しているところです。

(会長)

5・6 年生のところで朝食欠食、というお話でしたが、大体どのくらいの欠食率なのでしょうか。

(委員)

全体の数値は把握していないのですが、私が実際に授業で行ったときには、やはりクラスで数%、各クラスでちらほら朝食をとっていない生徒はいました。朝食を食べてきている子でも、内容をよく聞いてみると、主食だけという子が多かったり、バランスよく食べている子が多いかということそうでもなかったりというところで、食育にもっと力を入れていかなければならないかな、と思っているところです。

(会長)

朝食欠食は数%なのですね。数%でもいることはあまりよろしくないことかと思います。

ありがとうございました。

(委員)

このシートで各団体さんの取組がよくわかりますし、具体的な例がたくさん書いてありますので、すぐわかりやすく良かったです。また、食生活改善推進団体の取組としましても評価をつけることで毎年確認もでき、次年度の取組についても頑張っていこうという気持ちにもなりました。

(会長)

ありがとうございました。客観的に見ることができると、評価もしやすいと思いますので、また引き

続きよろしく願いいたします。

他にご意見やご感想はありますでしょうか。ぜひ、ご意見を参考に取り組んでいただければと思います。

議事（３）について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

資料４「第４次伊勢原市食育推進計画中間評価報告書」をご覧ください。お陰様で無事完成いたしましたので、配布いたしました。１ページには、計画の期間を記載しております。

令和６年度に市民３,０００人に対して食育に関するアンケート調査を実施しまして、令和７年度に中間評価がまとまりました。計画の期間としては残り２年となります。

２ページは計画の体系についてです。基本理念は「食で育み未来につなげるいのちときずな～生涯を通じた心身の健康と持続可能な食を支える食育の推進～」としており、５つの食育目標が設定されております。

４ページをご覧ください。５つの食育目標を達成するための指標として、①から⑮の１５項目を設定しております。計画最終年となる令和９年度目標値に対して、前回のアンケート調査の数値が令和６年度に記載されております。目標を達成したものには◎がついており、目標には至らないが現状値より数値が改善したものが△、現状値より数値が後退してしまったものが▼になります。

目標１は重点目標にも関わらず、「①２０～３０歳代女性のやせの人の割合」、「②４０～５０歳代男性の肥満の人の割合」が増加してしまっております。「③ゆっくりよくかんで食べる意識がある人の割合」は、若干増加しましたが、まだ目標には届いていないような状況です。男性の方がゆっくりかむ意識のない方が多いという関連も出ております。

目標２では、「⑦食育への関心がある若い世代の割合」は改善している一方で、「⑤２０～３０歳代の朝食欠食する人の割合」「⑥朝食を毎日食べる中学生の割合」は後退してしまいました。

目標３では、「⑨-１健康のために塩分の多いものを控えることを心がけている人の割合」「⑨-２あぶらっこいものを控えることを心がけている人の割合」は改善しておりますが、「⑧主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日に２回以上ほぼ毎日食べている人の割合」に関しては、後退しております。

目標４では、「⑩１日に１回も共食していない人の割合」が増加、「⑪家で料理の手伝いをしている中学生の割合」が減少しております。

目標５では、「⑬栽培・収穫・農業体験をしたことがある人の割合」が減少しております。

７ページから４７ページには、グラフや「達成状況の背景・要因」、「昨年度の評価委員のご意見」、そして「今後の方向性や取組」等を記載しております。

４８ページには、中間評価を踏まえた強化取組としてまとめが記載されております。子どもから高齢者まで全ての世代に対し、食育を推進していくためには、様々な関係機関と連携が必要と考えております。

思春期から青年期世代への適正体重の維持や、中学生を含めた若い世代の朝食欠食や栄養バランス等の改善に向けた食育では、例えば、中学校、高校、大学などの教育機関や養護教諭、栄養教諭、ＪＡ、職域、または子どもの親世代ということで幼稚園、保育園等との連携が必要になってまいります。

また、食の自立に向けた子どもの頃からのお手伝いや料理体験の機会を増やす取組としては保育園、幼稚園や小学校や中学校などの教育機関、栄養教諭、食育ボランティアとの連携が必要となります。

さらに、高齢者の地域での食を通じたコミュニケーションの機会を推進していくためには、民生委員や食育ボランティア、地域包括支援センター等の連携が必要です。

今後2年間の本会議でもご意見をいただきながら一体的に推進していければと考えております。
事務局からは以上となります。

(会長)

ただ今、事務局から説明がありました。ご質問やご意見があれば、お伺いします。

今年度新たに委員をお引き受けいただいた方にぜひご意見をいただければと思います。

(委員)

食育目標4「⑩1日に1回も共食をしていない人の割合」が21.7%で、対象者はどのような人なのでしょう。高校生、独居の高齢者、若者の一人暮らし大学生などはどうなのでしょう。

(事務局)

このアンケート自体は、伊勢原市にお住まいの20歳から79歳までの方への調査で行っております。世帯別の調査も行っており、独居の方は共食の機会が少なかったというデータはあるので、そういった方々に対して、地域に出て共食する機会を設けなければいけないと思っております。

(会長)

ありがとうございます。共食は若い人も高齢者も、独居であろうが同居であっても一人で食べている方がいらっしゃるわけで、とても重要なことですね。

(委員)

朝食を欠食する割合が多いということですが、なぜ食べないのか、その理由がよくわかりません。ただ単にダイエットが目的だとか、両親ともに仕事をしているから忙しくて食べられないだとか、経済的な理由だとかあるのかなと思いました。そういったところはどのようなのでしょうか。

(事務局)

朝食欠食の関連性が出ているものとしましては、「経済的な暮らし向きはいかがですか」という項目もありまして、ここでは「経済的にゆとりがある」「ややゆとりがある」とお答えの人の方が朝食を食べている傾向はありました。今、物価も上がっているので、安価で手軽に食べられるような朝食を普及啓発していかなければならないと思っていますところ。昨年度委員さんでいらっしゃった中学校の先生で、「朝食を食べよう」だけでなく、夜の過ごし方や生活リズム全体のところも影響しているのではないかというご意見もありましたので、朝食を食べられるような生活リズムを整える、というところもいろいろと皆様と連携して取り組んでいこうと思っております。

(委員)

具体的な解決法は考えていないのですか。

(事務局)

経済的な暮らし向きといったところで今回有意差が出たので、実際作り始めているのですが、簡単で安い食材を使って作れるレシピを、健康づくり課で作成して周知していきたいと思っていますところ。また、他の課でも「朝食を食べよう」というような教育をしていく取組を始めていただいているので、教育機関と連携して行っていきたいと思います。

(委員)

小学校である一定割合、確かに朝食を食べてこない子がいます。そういう子が、元気がないかというところでもなく、元気な子もいますが、やはり食べてきていない日は元気がなく、「おなか減っている。」「食べたいなあ。」という声も聞きます。なぜその子が食べてこないかというと、小学生の場合は家庭の考えや、親が子どもをどう見ているかによります。子どもに対しては給食や家庭科、食育などで教育で

きますが、なかなか親に啓発していくのは難しく、学校だけの力では難しいと常日頃思っていますので、市で食育としてもっと大きい立場で市民全体に食の大事さや朝食の大事さを広めていただけることは非常に有り難いと思っています。地域や、家庭、行政機関と連携して取り組んでいくことが大事だと思います。

(会長)

ありがとうございます。全くその通りだと思います。

国では第5次食育基本計画が策定され、「大人への食育」が大きく打ち出されています。どう展開していくかはこれからの話になっていくと思いますが、おそらく子どもが欠食している場合、親が食べていないことが多いなど、親の意識が子どもの食生活に影響することは想像に難くないので、国も子どもにだけ欠食するなという話ではなくて、大人に対して推進していこうという方向性が出されたのだと思います。今後のこの食育会議においてはその辺りの話し合いは活発にされていかなければと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

(委員)

全体的な話を聞かせていただきましたが、参加する前に資料を拝見し、食育を進めるにあたって経済的な面や家庭的な面が大きく影響するようだ、という報告を目にし、やはり余裕がないと食事に予算が割けないという部分があると思います。同様に伊勢原市もある程度予算がないといろんな施策が打てないと思います。商店街としても観光協会、市長との話で、伊勢原市が豊かでなければならない、魅力がなければならない、外貨が入ってこなければならない、そしてやはり財政を豊かにして、市民の方にも行き渡っていくことが大事だと思います。そのための一歩として、おいしい食のある町が大事だと思います。市内でもおいしいお店ができていて、食を使って町を活性化し、それをつなげてそれぞれの家庭も豊かになる、余裕がある食ができる、そういうところを目指していきたいと、この資料を見て思いました。

(会長)

経済面での話が出たので、少し情報提供いたしますと、資料3の17ページ、「被保護者健康管理支援事業」について、被保護者の健康管理や食事に対する管理を食育に入れているのは画期的な内容です。厚生労働省の援護局では一体的実施の内容のガイドラインを書き直す作業が始まっております。ガイドラインにきちんと書いて全国的に広めていこうという動きが出ているところです。経済格差という最後の極論のところかもしれませんが、すでに伊勢原市ではやられておりますので、とても画期的で前向きに時代のトレンドを上手に読まれていると思います。

議事(4)について 事務局から説明をお願いします。

(事務局)

その他としまして、2点報告がございます。1点目が資料5の食育料理コンテストについてです。実施要領のとおり、今年度も食育料理コンテストを湘南農業協同組合様に協賛いただき、実施の予定となっております。

参加にご協力いただいている小中学校の委員の皆様、審査員としてご協力いただいている委員の皆様、どうぞ、今年度もよろしくお願いいたします。

中学生の部は、現在、中学校給食のメニューに、受賞者の生徒さんのメニューを取り入れて頂いています。

また、受賞者メニューのレシピ集をJA 湘南の伊勢原市内の直売所に配架させていただいています。

ぜひ、引き続き連携していければと思います。

2 点目が資料 6 の広報いせはら令和 8 年 7 月号についてです。4 面から 6 面に、健康づくりについて特集を組みました。先ほどご説明した、若い女性のやせと働き盛り世代の肥満についてグラフを掲載し、調査結果をお知らせしたり、肥満を予防するための具体的な取組例を掲載したりしました。

また、会長の田中先生からもコメントをいただきまして、やせのリスクについて掲載しました。

さらに、食生活改善推進団体様にもご協力いただき、簡単朝食レシピを掲載させていただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。以上です。

(会長)

ありがとうございました。ただいま事務局から説明をいただきました。ご質問やご意見をお伺いいたしますが、いかがでしょうか。

(委員)

先ほどの、朝ごはんを食べないことに関して、前回も話題になったことだと思います。委員をやらせていただいていると、食べることに残念に思うことが多くなります。

我々の時代は朝ごはんをしっかりと食べろと言われて育ってきましたが、パンとコーヒーだったのが今はコーヒー一杯になるというような状況になり、二食で十分だという意見が非常に多くなっている状況に驚いています。

保育園や幼稚園でお母さんが「今日朝食食べていません。」「食べさせる時間がなかったんです。」と素直に言ってくれます。元気がなくなった子には、こちらで適度に何か少しでも食べさせてあげています。

他県のある施設では朝食を園で食べさせることを推進していて、寝間着のまま連れてきて、そして「これが食べるものです。朝食食べさせてください。」というところがあるそうです。これは「親が食べなくても子どもにはちゃんと食べさせているからいいだろう。」という意見にもつながってくるのかなと感じました。

食欲は生きる力だと思うので、食べることを諦めてしまったらダメではないかと、常にみんなに発信している状態です。

(会長)

ありがとうございます。

(委員)

朝食の欠食というのは、やはり保育園でも多いと思います。ただ、0 歳児から 2 歳児は、保育園だと午前のおやつがあり、朝食の量には満たないですが、ちょっとしたお煎餅や牛乳を提供するので少しはお腹に溜まります。3 歳児以上で欠食すると、給食の時間まで何も食べることができないので、「今日食べてないからお腹空いちゃったよ。」と言う子がいますが、ここ数年体調を崩すことが多いです。朝食を食べない子どもは午前中の暑さで熱中症のようになるので、何人かは事務所のベッドで横になり、みんながプール遊びや水遊びをしている時には涼しい部屋で過ごさせて様子を見るなどの状態になります。「朝は食べさせてください。そうしないと夏の遊びを楽しめないから。」と再三お願いしています。子どもが「今日気持ち悪くなっちゃったんだよ。」と言え、ば、「やっぱりそうだな、食べさせなきゃ。」と、子どもだけには何かしら食べさせてくれる親もいれば、自分が食べてないから食べさせない親もいます。「食べてきました。」と親が言っても、ちょっと元気がない子に「今日食べてないの。」と聞くと、「今日は時間がなかったから食べてないよ。」というようなことも多いので、やはりコツコツ教えていかないといけないのかなと思います。

食育料理コンテストは、毎年様々なメニューが出てくるので、子どもたちのアイデアはすごいなといつも思っているので、今年も楽しみにしています。

(会長)

ありがとうございます。

(委員)

食育コンテストについては、非常にいい取組だと思っていますので、引き続き多くの子どもたちに、親を巻き込んだ形でやっていただけると良いと思っています。

また、広報の特集について、食育や健康に関することは、皆さん日常的に関わる問題なので、意識の醸成も含めて非常に大切な部分だと思います。定期的に健康づくり課等、様々な関係機関と連携しながらこのような特集を組んで、市民の方たちの目に触れる機会を多くするということも、啓発の中の取組として関わってくると思いますので、引き続きお願いしたいと思います。以上です。

(会長)

ありがとうございます。食べる力というのは、やはり生きる力に直結するのですが、1日に3回あるので、どうしてもおぎなりになってしまうところはあると思うのですが、計画がきちんとあることによって、食が健康に直結していくというイメージが湧くと思います。

今日もとても暑い日ですけれども、食事を食べていないと、元気がなくなるのはもちろんなのですが、その食事の中に含まれる水分量は非常に無視できません。例えば、1日1500キロカロリー食べている人がいるとすると、お食事の中には大体少なくとも1000ミリリットル程度の水分が入っています。「食べなくても飲水していればいいや。」というのはかなり無理があり、食べてないということは脱水につながります。「飲ましたからいい。」と言う人もいますが、とてもそんなものでは足りません。食事をとらないと、エネルギーはもちろん入ってないのですが、水分も入ってないという意識も高めていただければなお良いと思います。

今回も活発なご意見、円滑な議事進行にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

7 その他

次回の連絡会議は、本日いただいたご意見を踏まえまして、今後取り組むべき具体的な事項について検討していきたいと考えております。

また、本日この場でご意見を伺えなかった内容につきましては、メールやファックスなどで事務局までご意見を送っていただけますと拝読できますので、ぜひ何かありましたらお寄せください。

次回の開催日程については、11月10日火曜日の午後2時から3時半で、全員協議会室にて予定しております。なお、3回目は来年の2月を予定しておりますので、また決まりましたらお知らせしたいと思います。

また、事務局が本日の会議の議事録を作成いたします。皆様にも内容のご確認をお願いしたいと思いますので、いただいております連絡先にお送りいたします。

8 閉会

(副会長)

それでは以上をもちまして、第1回伊勢原市食育推進会議を終了させていただきます。